

第4回経営協議会記録

日 時 平成26年3月18日(火) 15:00～16:45

場 所 柏原キャンパス事務局棟小会議室

出席者 長尾学長

小田, 梶本, 高橋, 竹村, 俵, 辻井, 栗林, 若井, 越桐, 成山, 宮崎

以上各委員

陪席者 野口監事

開会に先立ち、長尾学長より議事の進め方について、開催通知の順番に進める旨の説明が行われた。引き続き、平成25年度第2回経営協議会の記録確認がなされた。

議題(1) 平成26年度予算について

宮崎管理部長から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

【主な質疑】

- ・学生の退学による定員割れはあるかとの質疑に対して、退学する学生はいるが、同時に留年する学生もいるため、定員割れを起こすことはないとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・雑収入とはなにかとの質疑に対して、天王寺キャンパス西館等の施設の貸付や公開講座の受講料等の収入であるとの答弁が宮崎管理部長よりなされた。
- ・天王寺キャンパスのある土地は、非常に価値のある土地であると思うので、許される範囲で収入源とするため、有効活用の方法を考えてはどうかとの意見があった。
- ・戦略的重点経費のインセンティブ事業について、どのくらいの教員が獲得したか、効果がないのであれば、見直す必要があるのではないかと意見があった。
- ・インセンティブ事業と重点的教育研究創造推進事業を連動させるシステムが必要ではないかと意見があった。
- ・外部資金の獲得のためにインセンティブ経費を充てるべきではないかとの質疑に対して、インセンティブ事業の中に外部資金獲得インセンティブ経費を設けているほか、教育研究活性化推進事業として科研費獲得支援経費を設けているとの答弁が栗林理事よりなされた。
- ・教育学部の特徴として、多種多様な分野の教員がいることが挙げられるので、そのことを売り込むべきではないかとの質疑に対して、企業向けの教員紹介パンフレットを発行しており、今後更に広報していく必要があるとの答弁が成山理事よりなされた。

議題(2) 平成26年度計画(業務運営等)について

若井理事から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

【主な質疑】

- ・ネット出願は考えているかとの質疑に対して、制度上、教員養成大学ですぐに導入する

のは難しいとの答弁が若井理事よりなされた。

・年度計画の計画番号54に記載のアウトソーシングについて、適度なアウトソーシングは良いが、大学職員を育成するという観点からも、ほどほどにすべきであるとの意見があった。

議題（3）平成24年度の自己点検・評価報告書について

長尾学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

【主な質疑】

・改善すべき点で教養学科のことに触れており、授業改善や新たな取組みを行う時間的余裕がないとの記載があるが、教養学科ではどのような学生を輩出することを目指しており、どのような問題があるか等が明確に示されていないため、どのように改善すべきかが見えてこないとの発言があった。

議題（4）平成27年度の常勤役職員配置について

若井理事から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

【主な質疑】

・教員の定員が平成16年度から平成27年度までの間に50名近く削減されており、今後の教育・研究が心配であるとの発言に対して、教員の定員については、現在限界まで削減されており、今後の削減については構造の見直しが必要になってくると考えているとの発言が長尾学長よりなされた。

議題（5）役員の退職手当について

若井理事から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

議題（6）法人運営の改善に関する意見の活用状況の公表について

若井理事から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

報告事項（1）教職大学院設置の検討状況について

越桐理事から資料に基づき報告がなされた。

【主な質疑等】

・現職の教員が入学しやすい仕組みを検討して欲しいとの発言があった。

・大阪市では、一部校長を民間からの公募によって採用しており、教職大学院を卒業したとしても、将来、校長になる道がなければ、入学希望者は増えないのではないかと危惧しているとの発言があった。

報告事項（2）経営協議会外部委員向けアンケート結果について

若井理事から資料に基づき報告がなされた。

以 上